

令和6年度 長岡崇徳大学 看護学部看護学科 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

※新課程（令和4～6年度入学生に適用）

| 科目名 | 科目番号 | 担当 | 単位数 | | 時間数 | 学年配当 | 授業形態 | 内 容 |
|-----------|---------|------------------------------------|-----|----|-----|------|------|---|
| | | | 必修 | 選択 | | | | |
| 人体の構造と機能Ⅰ | 2208010 | 堀江 正男 | 2 | | 30 | 1 | 講義 | 【研究所での実務経験をもつ教員が教授する科目】 看護学の構成要素である人体の構造と機能の基礎について学ぶ。生命維持のために分子・組織・器官・個体のそれぞれのレベルにおいてどのようなことが営まれているかを学ぶ。具体的には、組織構造の基本、ゲノム、遺伝子と細胞と組織、血液、造血器機能について学ぶ。続いて、看護の基礎となる人体の構造とその体系を学ぶ。具体的には、骨格系、筋系、神経系の構造と機能について学ぶ。 |
| 人体の構造と機能Ⅱ | 2208020 | 堀江 正男 | 2 | | 30 | 1 | 講義 | 【研究所での実務経験をもつ教員が教授する科目】 「人体の構造と機能Ⅰ」に引き続き、看護学の構成要素である人体の構造と機能の基礎について学ぶ。具体的には、消化器系、呼吸器系、循環器系、泌尿器系の構造について学び、さらにそれらの器官が果たす機能について、呼吸と血液の働き、血液の循環、および体液の調節などに焦点を当てて理解を深め、健康維持のために果たす機能の基礎知識を学ぶ。 |
| 人体の構造と機能Ⅲ | 2208030 | 堀江 正男 | 1 | | 15 | 1 | 講義 | 【学外（大学病院）での見学を含む科目】 「人体の構造と機能Ⅱ」に引き続き、内分泌系、免疫系、生殖器系、感覚系、皮膚の構造と機能を学ぶ。ここでは、解剖見学実習を行い、実習後、「人体の構造と機能Ⅰ・Ⅱ」で学んだ内容との統合を図る。解剖実習は、新潟市内にある大学の医学部または歯学部にて実施する。この実習を通して、知識の修得統合とともに、人間の尊厳について考える。講義で学んだ諸器官の構造と機能を実習を通して学ぶため、大学病院での解剖体見学実習を実施する。 |
| 看護学概論 | 2311010 | 樋本まゆみ | 2 | | 30 | 1 | 講義 | 【看護師の実務経験をもつ教員が教授する科目】 学問としての看護学を学修する導入として、看護の概念、看護学の発展の歴史、看護倫理や法律など看護を取り巻く諸事情に関する現実的課題、看護の役割の将来展望について学ぶ。また、看護の本質を理解し看護学の目的論・対象論・方法論について学び、看護実践の基盤となる自然観・人間観・生活観・健康観・看護観を養う。さらに看護の独自性・専門性について理解し、専門職としての看護の役割を学ぶ。臨床での看護師経験を持つ講師が、その経験を活かして授業を行う。 |
| 基礎看護技術演習Ⅰ | 2311030 | 大平 富美 大崎 美奈子 熊倉 良太 樋本 まゆみ | 2 | | 60 | 1 | 演習 | 【看護師の実務経験をもつ教員が教授する科目】 看護における技術の考え方および共通する基本技術（感染予防、環境の調整、安全・安楽・自立）について学習する。さらにコミュニケーション、教育的関わりと日常生活援助技術として食事、排泄、活動・運動、睡眠・休息、清潔・衣生活について具体的に学ぶ。演習を通し、看護技術について人間の尊厳と関連して捉えられるように授業を進める。臨床での看護師経験を持つ4名の講師が、その経験を活かして技術を教授する。 |

| 科目名 | 科目番号 | 担当 | 単位数 | | 時間数 | 学年配当 | 授業形態 | 内容 |
|----------|---------|------------------------------------|-----|----|-----|------|------|--|
| | | | 必修 | 選択 | | | | |
| 基礎看護学実習Ⅰ | 2311070 | 大崎 美奈子 樋本 まゆみ 大平 富美 熊倉 良太 | 1 | | 45 | 1 | 実習 | 【看護師の実務経験をもつ教員が教授する科目】 健康障害をもつ対象者の治療と生活の場である病院における療養環境を理解し、看護場面の見学や多職種との連携から看護師の役割について学ぶ。また、対象者とのコミュニケーションを通して、患者と援助的人間関係を築く重要性を学ぶ。本学入学後として初めての学外での実習科目であり、臨床での看護師経験をもつ4名の講師が付き添いで指導する。 |
| 地域包括ケア論 | 2313010 | 平澤 則子 田邊 要補 太田 操 | 1 | | 15 | 1 | 講義 | 【オムニバス形式で保健師・助産師・看護師の実務経験を持つ教員が教授する科目】 臨床から地域まで、生活に視点をおいて対象を支援することの意義や地域包括ケアの概念について学ぶ。また日本の在宅ケア・医療政策の動向をふまえて、臨床から地域までつなぐ移行期ケアや看看連携の意義を考える。そして地域共生社会の実現に向け、母子から高齢者を対象とした包括的支援についてその役割を理解し、今後の課題について考察する。保健師、助産師、看護師として実務経験をもつ3名の講師によるオムニバス形式の科目としている。 |
| 日本国憲法 | 1106020 | 三浦 三蔵 | 2 | | 30 | 1 | 講義 | 【弁護士が教授する科目】 日本国憲法の制定の過程を学び、また基本原理について理解を深める。具体的には、人権の保障、法の下での平等、信教の自由、表現の自由、生存権などについて理解を深める。特に、人権については、人権尊重、人権擁護をめぐる身近な問題を考える。具体的には、いじめ、外国人差別、障害者への偏見、部落差別、労働に関わる問題、女性労働者と育児、介護に関わる問題などである。さらに、法とは何か、日本国憲法と法律の役割を明確にし、法律に関する基礎的、基本的な知識を身につける。 |
| 病理病態学 | 2209070 | 高塚 尚和 | 1 | | 15 | 1 | 講義 | 【医師の実務経験をもつ教員が教授する科目】 基本的な病変の原因、成り立ち、経過、転帰など及び疾病の起こるメカニズムについて学ぶ。具体的には、体液異常、血行障害、炎症、変性・壊死・萎縮・老化、腫瘍、過形成、先天異常、代謝などである。また、患者の示す様々な訴えや診察所見（ショックなど）から原因を探る病態症候論も併せて学習する。解剖学、組織学、生化学、生理学、免疫学など他の学問領域と関連させながら学ぶ。現役医師による講義である。 |
| 看護援助論 | 2311020 | 樋本 まゆみ 大平 富美 大崎 美奈子 熊倉 良太 | 2 | | 30 | 1 | 講義 | 【看護師の実務経験をもつ教員が教授する科目】 看護独自の援助を行うために、看護理論を活用し、看護を科学的に進める思考過程である看護過程を学ぶ。看護過程は看護を効果的に実践する方法論の一つであり、対象者のニーズを満たす援助を行うための考える力と基本姿勢を養う。臨床での看護師経験をもつ4名の講師による講義の他、グループワークも織り交ぜた科目となる。 1. 看護理論と看護過程の関係を理解する 2. 看護過程の構成要素を理解する 3. 情報収集の枠組みとその実際 4. 全体像の描き方とアセスメント 5. 看護上の問題と援助を実践するための看護計画 6. 事例を用いた看護過程の演習 ・事例提示・グループワークのオリエンテーション ・看護過程の演習をグループワークで行う ・各グループで立案した看護計画を発表し質疑応答を行う |

| 科目名 | 科目番号 | 担当 | 単位数 | | 時間数 | 学年配当 | 授業形態 | 内容 |
|----------------------|---------|------------------------------------|-----|----|-----|------|------|--|
| | | | 必修 | 選択 | | | | |
| 基礎看護技術演習Ⅱ | 2311040 | 大崎 美奈子 大平 富美 熊倉 良太 樋本 まゆみ | 2 | | 60 | 1 | 演習 | 【看護師実務経験を持つ教員が教授する科目】 ヘルスアセスメントの意義を理解し、フィジカルアセスメントの基本技術を学ぶ。シミュレーターを活用し臨床判断能力と自ら学ぶ力が育つように進め、さらに看護技術を人間の尊厳と関連して捉えられるように授業を進める。また、感染予防の基本技術、日常生活援助行動（食事、排泄）の援助技術について看護援助の必要性を理解し知識・技術を学ぶ。臨床での看護師経験をもつ4名の講師により技術演習を行う。 |
| 薬理学 | 2209080 | 佐合 絵里 | 1 | | 15 | 2 | 講義 | 【薬剤師が教授する科目】 薬理に関する基礎的な知識を習得するとともに、基本的な薬物について臨床での活用と関連させて学ぶ。総論として、薬物療法の目的、薬理作用、薬物動態、中毒などを学び、各論として医薬品を系統別に分け、疾病の病態と合わせて治療薬の作用機序、使用方法、副作用相互作用、看護上の留意点について学ぶ。現役の薬剤師を招いて教授する科目である。 |
| 疾病治療論Ⅰ (循環器) | 2209020 | 伊藤 正洋 | 1 | | 15 | 2 | 講義 | 【医師が教授する科目】 人間の健康を傷害する主な疾患を系統的に取り上げ、病因・病態・診断法・治療法、予後について学習し、看護実践に結び付けるための基礎知識とする。 ここでは、循環器疾患の成り立ちと症状、検査、診断、治療について学び、看護実践に結びつけるための基礎知識とする。具体的には、心不全・虚血性疾患、高血圧、不整脈、弁膜症、心筋・心膜疾患、先天性疾患、挫滅症候群などである。治療方法として、薬物療法および手術療法を含む治療例について学ぶ。現役医師による講義である。 |
| 疾病治療論Ⅱ (呼吸器・消化器) | 2209030 | 佐藤 和弘 高村 昌昭 | 1 | | 15 | 2 | 講義 | 【オムニバス形式で医師が教授する科目】 呼吸器疾患、消化器疾患の成り立ちと症状、検査、診断、治療について学び、看護実践に結びつけるための基礎とする。現役医師による講義である。 (佐藤和弘/4回) 呼吸不全、呼吸器感染症、肺循環器障害、気胸、腫瘍などについて学び、看護実践に結びつけるための基礎知識とする。治療法については、手術療法の例を含む。 (高村昌昭/4回) 消化器疾患の病因から治療までを学び、看護実践に結びつけるための基礎知識とする。治療については、手術療法を含む。 |
| 疾病治療論Ⅲ (内分泌・代謝、腎) | 2209090 | 福居 和人 中野 正明 | 1 | | 15 | 2 | 講義 | 【医師が教授する科目】 代謝、内分泌疾患、腎疾患の成り立ちと症状、検査、診断、治療について学び、看護実践に結びつけるための基礎とする。現役医師による講義である。 (福居和人/4回) 間脳・下垂体疾患、甲状腺疾患、副甲状腺疾患、メタボリック・シンドローム、糖尿病などを学び、看護実践の基礎知識とする。 (中野正明/4回) 主な腎疾患と腎機能障害に対する透析療法、腎移植などの治療法を学び、看護実践の基礎とする。 |

| 科目名 | 科目番号 | 担当 | 単位数 | | 時間数 | 学年配当 | 授業形態 | 内 容 |
|-----------|---------|------------------------------------|-----|----|-----|------|------|---|
| | | | 必修 | 選択 | | | | |
| 公衆衛生学 | 2210030 | 鈴木 翼 | 2 | | 30 | 2 | 講義 | 【医師の実務経験を持つ教員が教授する科目】 集団レベルでの健康増進と疾病の予防について公衆衛生学的な考え方を身につける。人々が関わる社会状況、生活環境、保健医療制度ならびに事業、社会保障および社会福祉など、医学・医療が社会とかわる領域に幅広くまたがる公衆衛生の概念を理解する。そのうえで、公衆衛生の歴史、現代日本の公衆衛生のシステムと政策などを学ぶ。さらに、公衆衛生活動のあらましを理解するとともに、在宅医療、地域保健、途上国などの現場の活動を学ぶ |
| 基礎看護技術演習Ⅲ | 2311050 | 大平 富美 大崎 美奈子 熊倉 良太 樋本 まゆみ | 2 | | 60 | 2 | 演習 | 【看護師実務経験を持つ教員が教授する科目】 診断・治療過程にある対象に施される診療（診察・検査・治療）の目的、方法を理解し、診療を補助する看護者の役割と技術を学ぶ。具体的な技術として、検査、与薬、症状・生体機能管理、呼吸・循環を整える技術、電法、創傷管理、死の看取りについて学ぶ。また診療に伴う対象の心身の苦痛を最小限に抑え、正確で安全な技術の修得を図る。臨床での看護師経験を持つ4名の講師が、その経験を活かして看護技術を教授する。 |
| 成人看護学概論 | 2312010 | 近藤 ふさえ | 1 | | 15 | 2 | 講義 | 【看護師実務経験を持つ教員が教授する科目】 成人期にある人々の特性を理解し、援助を展開するために必要な理論や概念について学修する。具体的には、成人期の発達課題と特性、成人の健康に影響を及ぼす要因と健康問題の動向を把握し、保健活動と成人看護の役割を学修する。主要理論・概念ではセルフケア理論、成人学習理論、危機理論、ストレスコーピング、エンパワメント、パートナーシップ、成人にかかわる主な保健医療福祉の法令・施策などについて学ぶ。また、新潟県下の成人の健康問題を考察する。臨床での看護師経験を持つ講師が教授する科目である。 |
| 成人看護援助論Ⅰ | 2312020 | 広井 貴子 | 2 | | 30 | 2 | 講義 | 【看護師実務経験を持つ教員が教授する科目】 成人期にある人を対象とした手術療法と医学的管理、および周手術期看護について学ぶ。手術療法の対象となる疾患の代表的な術式、もたらされる侵襲と術前術後の基本的な医学管理方法についても学ぶ。次いで、急激な身体侵襲から回復安定を必要とする人の看護、生活調整や再構築を必要とする人の看護について事例を通して学ぶ。臨床での看護師経験をもつ教員が、その経験を活かし、療養生活や周手術期にある人及び家族に応じた援助方法を教授する。 |
| 成人看護援助論Ⅱ | 2312030 | 目黒 優子 | 2 | | 30 | 2 | 講義 | 【看護師実務経験を持つ教員が教授する科目】 成人期の主要慢性疾患の診断と治療の特徴を理解し、看護上の問題、看護援助について学ぶ。具体的には、慢性疾患の理解と看護上の問題（腎疾患・呼吸器疾患）、地域における生活習慣病の第2次・3次予防（糖尿病・動脈硬化）、慢性疾患患者のセルフケア支援、地域連携クリティカルパスの概要についても学ぶ。臨床での看護師経験をもつ教員が、その経験を活かし、慢性疾患の治療を受ける患者の具体的な援助等を教授する。 |

| 科目名 | 科目番号 | 担当 | 単位数 | | 時間数 | 学年配当 | 授業形態 | 内容 |
|------------|---------|-----------------|-----|----|-----|------|------|--|
| | | | 必修 | 選択 | | | | |
| 老年看護学概論 | 2312080 | 角山 裕美子 袖山 悦子 | 1 | | 15 | 2 | 講義 | 【オムニバス形式で看護師実務経験を持つ教員が教授する科目】 人生の最終段階にある高齢者の理解と高齢者観を育むことを目的とする。高齢者を、身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から捉え、成熟現象としての老化が健康に及ぼす影響や日常生活に及ぼす影響を理解し、高齢者の可能性を最大限に活かした高齢者の生き方に寄り添う高齢者看護を理解する。また、高齢者を取り巻く環境では、高齢者及び高齢社会について統計的輪郭から理解を深め、保健医療福祉制度の変遷を知り、高齢者支援における多職種連携の必要性、老年看護の倫理的課題について理解する。臨床での看護師経験をもつ教員が、その経験を活かし、老年看護に関する授業を展開する。 |
| 小児看護学概論 | 2312130 | 永谷 智恵 | 1 | | 15 | 2 | 講義 | 【看護師実務経験を持つ教員が教授する科目】 子どもとその家族に対する看護援助について健康一健康障害にかかわらず、共通する基本的な考え方やアプローチについて学習する。具体的には小児看護の特徴や理念、子どもの成長・発達の基本的概念、小児期の健康問題や予防接種、子どもと家族を取り巻く社会、保健・医療・福祉・教育の果たす役割などについて学ぶ。さらに、子どもの基本的人権、子ども虐待の背景や実態について学び、医療関係者としての役割について基本的知識を学ぶ。臨床での看護師経験をもつ教員が、その経験を活かした授業を展開する。 |
| 母性看護学概論 | 2312170 | 太田 操 | 1 | | 15 | 2 | 講義 | 【看護師・助産師実務経験を持つ教員が教授する科目】 リプロダクティブヘルス・ライツの視点から、女性のライフステージ各期における心身の特徴と健康課題及びそのヘルスサポートに関する理解、性と生殖に関わる倫理、母子の子育て世代地域包括支援の意義などを学修し、母性へのサポートができるための知識を修得する。臨床での助産師経験をもつ教員が、その経験を活かした授業を展開する。 |
| 精神看護学概論 | 2312210 | 田邊 要補 | 1 | | 15 | 2 | 講義 | 【看護師実務経験を持つ教員が教授する科目】 心の健康問題についての理解を深め、現代社会における精神保健・医療・福祉の活動とあり方を考える。また、精神保健福祉に関する法律や制度、精神保健福祉の動向について学び、今後の課題と精神看護の役割について考える。心のしくみと人格の発達、精神の健康と障がいのとらえ方、ストレスと適応、精神を病むことを学ぶ。また、精神医療の歴史、精神医療における倫理や法制度について学び、看護の役割を理解する。臨床での看護師経験をもつ教員が、その経験を活かした授業を展開する。 |
| 地域・在宅看護学概論 | 2313170 | 平澤 則子 田辺 生子 | 1 | | 15 | 2 | 講義 | 【オムニバス形式で看護師・保健師実務経験を持つ教員が教授する科目】 地域看護学の概念や基本的な考え方をもとに、在宅で療養する人とその家族を理解し、質の高い生活を維持できるようにするための看護のあり方を学ぶ。在宅看護の歴史や社会的な背景をふまえ、在宅看護の概念と対象・活動の場・活動方法の特徴を学ぶ。また、在宅看護の展開に必要な法・制度・社会資源について学ぶ。さらに、在宅ケアシステムと看護の機能について学び、在宅看護の役割と課題を考える。保健師実務経験をもつ講師が教授する。 |

| 科目名 | 科目番号 | 担当 | 単位数 | | 時間数 | 学年配当 | 授業形態 | 内容 |
|---------------------|---------|-----------------------------------|-----|----|-----|------|------|--|
| | | | 必修 | 選択 | | | | |
| 公衆衛生看護活動論Ⅰ | 2313070 | 駒形 三和子 平澤 則子 渡邊 路子 山崎 節子 | 2 | | 30 | 2 | 講義 | 【オムニバス形式で看護師・保健師実務経験を持つ教員が教授する科目】 地域で生活する個人や家族・集団・組織に対して、そのヘルスニーズに応じた公衆衛生看護活動の展開方法を理解し、保健師の役割、機能を学習する。ライフサイクルと健康課題ごとの看護活動方法を理解する。母子、成人、高齢者保健福祉や精神・障害者に対する地域看護活動の展開方法を理解し、看護職の役割・機能を学習する。さらに、難病対策における看護職の役割・機能を学習する。保健師実務経験をもつ講師が教授する。 |
| 災害看護論 | 2313140 | 春川 一樹 | 1 | | 15 | 2 | 講義 | 【看護師が教授する科目】 災害看護の基礎としての災害看護の歴史、災害看護の定義、救急医療と災害医療との違いを学ぶ。その上で、実際の現場を想定しながら、災害時医療体制の整備への対応にむけて、災害医療と看護や災害の種類と特徴的疾患、災害サイクルや災害各期の看護支援について理解する。さらに災害時の健康障害やそれを支えるための基礎的な知識を学ぶ。県内で起きた雪害、水害、中越地震、中越沖地震などをテーマに災害看護の学習を深めるために、被災状況の特徴のまとめや、被災体験者からの体験談をもとに、災害時のトリアージや、被災者および看護職としての係わり方を学ぶ。救急看護認定看護師の資格をもつ講師が、その経験を活かした授業を行う。 |
| 疾病治療論Ⅳ (造血器・運動器) | 2209050 | 山田 修 星野 正 | 1 | | 15 | 2 | 講義 | 【医師が教授する科目】 運動器疾患、神経疾患、造血器疾患の成り立ちと症状、検査、診断、治療について学び、看護実践に結びつけるための基礎とする。現役医師による講義である。 (山田修/4回) 白血病などの造血器疾患とその治療法としての化学療法や輸血療法、および放射線療法を学び、看護実践に結びつけるための基礎とする。 (星野正/4回) 骨折などの筋・骨格器の障害、脊髄損傷などの神経障害による運動機能障害および放射線治療や麻酔療法について学び、看護実践の基礎知識とする。 |
| 疾病治療論Ⅴ (脳神経・精神) | 2209060 | 笠井 英世 渡部 和成 | 1 | | 15 | 2 | 講義 | 【医師が教授する科目】 脳神経疾患、精神疾患の成り立ち、症状、検査、診断、治療について学び、看護実践に結びつけるための基礎とする。現役医師による講義である。 (笠井英世/4回) 様々な原因による高次機能制御系障害について、検査、診断、治療法について学び、看護実践のための基礎知識を深める。手術療法の例を含めて学ぶ。 (渡部和成/4回) 精神および行動障害疾患について学び、看護実践のための基礎知識とする。統合失調症などの疾患の他、ストレス関連障害、摂食障害、行動障害、依存症などを含む。 |

| 科目名 | 科目番号 | 担当 | 単位数 | | 時間数 | 学年配当 | 授業形態 | 内容 |
|------------------------------|---------|------------------------------------|-----|----|-----|------|------|--|
| | | | 必修 | 選択 | | | | |
| 疾病治療論Ⅵ (婦人科、免疫・アレルギー・膠原病) | 2209100 | 加嶋 克則 中野 正明 | 1 | | 15 | 2 | 講義 | <p>【医師が教授する科目】</p> <p>女性生殖器及び免疫・アレルギー・膠原病の成り立ちと症状・検査・診断・治療について学び、看護実践に結び付けるための基礎とする。現役医師による講義である。</p> <p>(加嶋克則/全4回) 生殖器の疾患：子宮筋腫、子宮内膜症、卵巣腫、腫瘍：乳がん、子宮体癌、子宮頸がん、卵巣がん、月経異常：無月経、月経困難症、黄体機能不全、不妊症、更年期障害、閉経後障害（骨粗鬆症・動脈硬化・認知症等）などの女性特有の疾患について学ぶ。</p> <p>(中野正明/全4回) アレルギー反応、アレルギー性鼻炎、全身性エリテマトーデス（SLE）、シェーングレン症候群、減感作療法、皮膚疾患（アトピー性皮膚炎など）含む、アナフィラキシーショック、気管支喘息(小児期からの病態と治療) などである。</p> |
| 保健統計学 | 2210010 | 鈴木 翼 | 2 | | 30 | 2 | 講義 | <p>【医師の実務経験をもつ教員が教授する科目】</p> <p>保健統計に関する統計情報として、人口の静態統計、動態統計、生命表などの人口統計の基礎について学ぶ。また基幹統計の意味、国勢調査や人口動態調査、国民生活調査、国民健康・栄養調査や感染症発生動向調査などの既存の資料を素材にして各種データの読み取り方を学ぶ。またそれらの、保健医療情報の収集の方法と実際を学ぶとともに、保健医療情報に関する法令・指針・原則についても学び、実際の現場で保健医療情報を活用できる基礎的能力を養う</p> |
| 疫学 | 2210050 | 鈴木 翼 | | 2 | 30 | 2 | 講義 | <p>【医師の実務経験をもつ教員が教授する科目】</p> <p>地域での根拠に基づく保健医療の現場の看護活動のために、疫学概念と考え方や方法を学ぶ。疫学とは何か、疫学がどのように疾病予防に貢献してきたかを学ぶ。そのうえで、集団の健康状態の把握のための指標について、疾病頻度の指標・暴露効果の指標・寄与危険などについて学ぶとともに、疫学的研究方法についてや、スクリーニング、対象別、疾患別疫学の特徴などを学ぶ。統計分析法、公衆衛生学、保健統計学と関連させて学ぶ。</p> |
| 基礎看護学実習Ⅱ | 2311080 | 大崎 美奈子 樋本 まゆみ 大平 富美 熊倉 良太 | 2 | | 90 | 2 | 実習 | <p>【看護師実務経験を持つ教員が教授する科目】</p> <p>療養している対象者を一人受け持ち、対象者や家族と援助的人間関係を深め、対象者の生活における基本的ニーズの観点から情報収集、アセスメント、計画立案という看護の系統的思考過程の展開を学ぶ。看護を科学的根拠を持って実践することで看護実践の基礎を身につける。また、実習を通して責任ある行動・態度を習得する。臨床での看護師経験をもつ4名の講師による学外での臨地実習科目である。</p> |

| 科目名 | 科目番号 | 担当 | 単位数 | | 時間数 | 学年配当 | 授業形態 | 内容 |
|----------|---------|--|-----|----|-----|------|------|---|
| | | | 必修 | 選択 | | | | |
| 成人看護援助論Ⅲ | 2312040 | 広井 貴子 目黒 優子 | 1 | | 30 | 2 | 演習 | 【看護師実務経験を持つ教員が教授する科目】 成人看護援助に必要な技術について、科学的根拠を確認しながらより実践的に学ぶ。 成人看護援助論Ⅰ、Ⅱで学習した看護技術や看護援助過程について実践的に学習する。成人看護学実習の事前学習として手術からの回復期の看護を含む周手術期の看護援助技術の習得、および慢性疾患をもつ対象者に対するセルフマネジメントにつながる健康支援について、より具体的で実践的に演習を行うことによって学ぶ。臨床での看護師経験をもつ講師が教授する科目である。 |
| 老年看護援助論Ⅰ | 2312090 | 青柳 直樹 角山 裕美子 多田 健一 本庄 幸代 袖山 悦子 | 2 | | 30 | 2 | 講義 | 【オムニバス形式で看護師の実務経験をもつ教員が教授する科目】 老年期にある対象とその家族、およびそれを支える人びとを対象とし、加齢に伴う心身機能の変化と老年期のアセスメントの特徴、加齢と健康障害に応じた看護に必要な知識・技術について学ぶ。高齢者に特徴的な健康課題の事例から生活機能・目標志向型思考でアセスメントを行い、高齢者のQOL向上に向けた看護を学ぶ。また、高齢者の家族や関わる人々との関係性や地域社会（社会資源）を活用した援助を学び、高齢者の尊厳を守る看護について考察する。5名の臨床看護師経験をもつ教員が、その経験を活かしたオムニバス形式の科目である。 |
| 小児看護援助論Ⅰ | 2312140 | 沼野 博子 伊藤 文子 船岡 未恵 永谷 智恵 | 2 | | 30 | 2 | 講義 | 【オムニバス形式で看護師実務経験を持つ教員が教授する科目】 小児期の代表的な疾患の基礎知識や治療の動向、急性期・周術期・慢性期において子どもの身体的特性をふまえた症状アセスメントと看護について学ぶ。 健康障がいによる子ども・家族の状況を理解し、その人らしく生活するための身体的・心理的・社会的援助について学ぶ。 一人の人として子どもを尊重し、医療環境や地域社会の中で健やかな成長を支える看護について学ぶ。4名の臨床看護師経験をもつ講師がオムニバス形式で講義を行う。 |
| 母性看護援助論Ⅰ | 2312180 | 森 美由紀 太田 操 佐藤 初美 | 2 | | 30 | 2 | 講義 | 【オムニバス形式で助産師・看護師の実務経験を持つ教員が教授する科目】 周産期女性の身体的・心理的・社会的特徴や胎児・新生児の発育発達過程およびその女性を取り巻く家族についても理解する。妊婦・産婦・褥婦・胎児・新生児および家族の健康上の諸課題を理解し、正常に経過するための援助や自己決定能力・セルフケア能力を高めるための看護援助に活用できる知識を学ぶ。助産師の実務経験をもつ教員がオムニバス形式により教授する科目である。 |
| 精神看護援助論Ⅰ | 2312220 | 板山 稔 藤田 勇 | 2 | | 30 | 2 | 講義 | 【オムニバス形式で看護師の実務経験を持つ教員が教授する科目】 精神に健康問題を持つ人と家族への看護を展開するためのアセスメントの視点とその方法を理解し、精神的な健康の回復、保持・増進に必要な援助方法を学習する。また、精神医療、地域精神保健福祉における法制度の内容と看護者の倫理、関連する専門職種との役割と連携を理解し、看護の役割について学習する。看護師の実務経験をもつ教員がオムニバス形式により教授する科目である。 |

| 科目名 | 科目番号 | 担当 | 単位数 | | 時間数 | 学年配当 | 授業形態 | 内容 |
|-------------|---------|--|-----|----|-----|------|------|---|
| | | | 必修 | 選択 | | | | |
| 地域・在宅看護援助論Ⅰ | 2313180 | 山崎 節子 駒形 三和子 渡邊 路子 田辺 生子 | 2 | | 30 | 2 | 講義 | 【オムニバス形式で看護師・保健師の実務経験をもつ教員が教授する科目】 対象別に在宅療養者とその家族に対する理解を深めるとともに、看護援助の方法を学ぶ。在宅看護で必要とされる基本的な生活援助技術について学ぶ。そして、訪問看護ステーションの役割と機能、病院から在宅への移行のための退院調整、家族のケア、家族間調整、多職種との連携・調整などを学び、家族構成や地域の環境などを包括した在宅療養者のケアについて考える。保健師の実務経験をもつ教員が、オムニバス形式でその経験を活かした授業を行う。 |
| 公衆衛生看護活動論Ⅱ | 2313080 | 渡邊 路子 平澤 則子 駒形 三和子 | | 2 | 30 | 2 | 講義 | 【オムニバス形式で看護師・保健師の実務経験をもつ教員が教授する科目】 地域の健康危機管理の概念、活動体制と行政看護職の機能・役割、災害、感染症予防等の健康危機の種別に応じた活動方法を学ぶ。さらに、地域生活集団を対象とした看護管理を学び、既存事業の改革や事業化について考える。また、学校保健活動と看護、産業看護職の役割と機能について学ぶ。保健師の実務経験をもつ教員が、オムニバス形式でその経験を活かした授業を行う。 |
| 公衆衛生看護支援技術Ⅰ | 2313210 | 渡邊 路子 平澤 則子 駒形 三和子 山崎 節子 田辺 生子 | | 2 | 30 | 2 | 講義 | 【オムニバス形式で看護師・保健師の実務経験をもつ教員が教授する科目】 公衆衛生看護の理念に基づき、住民の家庭、地域社会生活の場において提供する地域看護援助方法を学び、対象の特性に応じた支援における保健師の役割、機能を考える。個人・家族を対象とした家庭訪問・健康相談、集団を対象とした健康教育・健康学習の方法と技術および地域におけるグループ支援の方法と技術を学ぶ。そして、地域住民と共に展開する地域看護活動の目的と方法を考える。保健師として実務経験をもつ5名の教員によるオムニバス形式の科目である。 |
| 公衆衛生看護学概論 | 2313060 | 平澤 則子 渡邊 路子 | 2 | | 30 | 1 | 講義 | 【オムニバス形式で看護師・保健師の実務経験をもつ教員が教授する科目】 本人・家族や集団、組織を含む地域を基盤とした看護活動の考え方、公的ヘルスケアサービスの中で機能する看護のあり方を学ぶ。また、予防的介入を基盤とした公衆衛生看護活動を具体的に学び、人々の健康に貢献するために看護がどのように機能することが求められているかを考える。保健師として実務経験をもつ2名の教員によるオムニバス形式の科目である。 |
| ベーシック英語 | 1102090 | 川崎 真理子 | 2 | | 30 | 1 | 講義 | 【英語を使った各種社会活動での実務経験をもつ教員が教授する科目】 国際化する社会の一員として必要となる英語の能力を養成するために、基礎的な4技能を獲得する。基礎的な英文法を確認し、知りたいことを的確に読み取る能力を養成する。目的に応じた正しい英文を書く能力を養成する。一般的な日常生活・看護現場での英語運用能力を身につける。 |

| 科目名 | 科目番号 | 担当 | 単位数 | | 時間数 | 学年配当 | 授業形態 | 内容 |
|-------------------|---------|--|-----|----|-----|------|------|--|
| | | | 必修 | 選択 | | | | |
| スタディスキルズ | 1107010 | 板山 稔 田邊 要補 | 1 | | 30 | 1 | 演習 | 【看護師実務経験をもつ教員がオムニバス形式で教授する科目】 大学における学習を効果的に進めるために必要な「読む」「書く」「話す」「調べる」「発表する」などの基本スキルを学ぶ。（板山稔/8回）授業の聞き方、ノートを取り方、事前・事後学習課題の取り組み方など、大学生としての学習における基本的スキルを具体的に学ぶ。図書館の利用方法についてオリエンテーションを受け、文献や資料の探し方、活用の仕方について学ぶ。グループ単位でテーマを決めて図書館等で文献や資料を調べ、ディスカッションを行いながら調べ学習を深め、資料を作成して成果を発表する。（田邊要補/7回）レポートの書き方の基本、ディスカッションの方法や司会・書記・発表の役割の基本などについて学ぶ。グループディスカッションにおいては、アサーティブな表現、クリティカルシンキングに関する基礎知識についても学ぶ。看護師として臨床での実務経験をもつ2名の講師による科目である。 |
| 福祉と保障 | 1106030 | 佐藤 和也 | | 2 | 30 | 1 | 講義 | 【社会福祉士として実務経験をもつ教員が教授する科目】 社会福祉とは何か、どうあるべきかを理解する。歴史的背景を踏まえた社会福祉の概念や対象・理念を学び、現代の社会福祉の現状と多様性を学ぶ。また、社会福祉と社会保障の概念を明らかにし、現代の社会保障の各種政策・制度を学習する。具体的には、少子高齢化に対する社会保障制度、社会的不平等に対する保証制度などである。また、それを踏まえ、現在のメインストリームである地域ケアにおけるこれからの自立生活支援の考え方を養う。社会福祉士としての実務経験をもつ講師による科目である。 |
| 看護に活かすコミュニケーション英語 | 1102100 | 川崎 真理子 | 2 | | 30 | 2 | 講義 | 【英語を使った各種社会活動での実務経験をもつ教員が教授する科目】 職業人として、看護や医療の場面に活用できる英語の基礎的コミュニケーション能力を獲得する。看護や医療で使用されることの多い英語の語彙を習得するとともに、治療や検査、看護援助の場面を想定した状況において、対象者との基本的なコミュニケーションが英語を用いてできるためのリスニングとスピーキング能力を中心に養成する。また、看護や医療に関して書かれた英文を読解できる基礎的な能力を養成する。 |
| 保健医療福祉行政論 | 2210020 | 五十嵐 直子 | 2 | | 30 | 3 | 講義 | 【看護師の実務経験をもつ教員が教授する科目】 保健医療福祉行政論は、公衆衛生看護を実践するための基礎となるとともに、地域で包括的に住民をケアするための基礎となる科目でもあり、保健師にとっても看護師にとっても必要な科目である。そこで、地域住民がより良い暮らしを営むことを支援する基盤となる保健医療福祉の歴史を理解することから始まり、制度と行政の仕組みを理解する。また、現在の日本の保健医療福祉行政の現状を知り、評価と課題を抽出し、対策を考える。保健師として実務経験を持つ講師による科目（保健師教育課程必修）である。 |
| 公衆衛生看護支援技術Ⅱ | 2313220 | 駒形 三和子 平澤 則子 渡邊 路子 山崎 節子 田辺 生子 | | 2 | 30 | 3 | 講義 | 【保健師の実務経験をもつ教員が教授する科目】 事例を基にした地域看護診断を通して、地域の特性と地域で生活する人々の健康と生活のニーズをアセスメントし、健康課題を明らかにするプロセスを実践的に学ぶ。健康課題に優先順位をつけ、健康課題を解決するための保健事業計画を地域の社会資源を踏まえ立案し、公衆衛生看護活動における保健師の役割を考える。保健師実務経験をもつ5名の講師による科目である。 |

| 科目名 | 科目番号 | 担当 | 単位数 | | 時間数 | 学年配当 | 授業形態 | 内容 |
|----------|---------|-----------------------------------|-----|----|-----|------|------|--|
| | | | 必修 | 選択 | | | | |
| 看護倫理 | 2311060 | 樋本 まゆみ | 1 | | 15 | 3 | 講義 | 【看護師の実務経験をもつ教員が教授する科目】 看護倫理の歴史的変遷から倫理的課題と概念を理解し、倫理の原則、倫理規定から看護職者に求められる倫理観について学習する。また、医療・看護の場で直面する倫理的問題やジレンマについて理解を深め、その問題解決のために活用できる法的仕組みや意思決定理論を学習する。また、事例を用いて倫理的な問題・葛藤についてグループワークで検討し、その患者にとって最も適切であると判断・行動できるための理論的根拠を考察し、看護職者として責務が果たせる基礎的能力を身につける。看護師実務経験をもつ教員が教授する。 |
| 老年看護援助論Ⅱ | 2312100 | 角山 裕美子 青柳 直樹 多田 健一 本庄 幸代 | 1 | | 30 | 3 | 演習 | 【看護師実務経験を持つ教員が教授する科目】 高齢者の健康問題発生のプロセスとその変化を理解するためのヘルスケア・アセスメント技法を習得する。事例を用いて、加齢に伴う諸機能の低下、様々な疾患や薬剤による影響、環境から起こる変化が日常生活に及ぼす影響を考え、老年者の看護に必要な移動、排泄、食事援助、介護予防や老化防止につながる健康教育、コミュニケーション技法について体験型の演習で学ぶ。看護師実務経験をもつ4名の講師が教授する。 |
| 小児看護援助論Ⅱ | 2312150 | 沼野 博子 伊藤 文子 船岡 未恵 永谷 智恵 | 1 | | 30 | 3 | 演習 | 【看護師実務経験を持つ教員が教授する科目】 基礎看護学で学んだ技術を基盤として、乳幼児を想定した子どものフィジカルアセスメントや小児看護技術項目について小グループに分かれて演習室にて技術演習を行う。特に、検査・処置を受ける子どもに対する説明と不安軽減、個別性を考えながら適確な技術を提供するためのポイントについてDVDやデモンストレーションを参考に実践的に学ぶ。看護師実務経験をもつ4名の講師が教授する。 |
| 母性看護援助論Ⅱ | 2312190 | 佐藤 初美 森 美由紀 太田 操 | 1 | | 30 | 3 | 演習 | 【看護師・助産師実務経験を持つ教員が教授する科目】 妊娠・出産・育児期の健康問題や家族支援にかかわる看護援助の方法論をもとに、母子の事例を用いた看護過程の学習と看護技術を学ぶ。褥婦の全身・生殖器の復古と回復を助けるための看護援助、母親・家族の役割適応を支援する看護援助を学ぶとともに、新生児の出生直後から胎外生活への移行や退院までのウェルビーイングを助長する看護援助、退院後の生活指導に関する看護援助について学ぶ。助産師の実務経験をもつ3名の教員による科目である。 |
| 精神看護援助論Ⅱ | 2312230 | 田邊 要補 板山 稔 藤田 勇 | 1 | | 30 | 3 | 演習 | 【看護師実務経験を持つ教員が教授する科目】 精神に健康問題を持つ人とその家族についての事例を通して、入院から社会生活までの看護を理解するとともに、精神に特徴的な疾患や症状をもつ人に対しての具体的な看護援助方法を学習する。さらに地域で暮らす精神に障がいをもつ人の看護についても理解する。看護師実務経験をもつ3名の講師が教授する。 |

| 科目名 | 科目番号 | 担当 | 単位数 | | 時間数 | 学年配当 | 授業形態 | 内容 |
|----------|---------|-----------------------------------|-----|----|-----|------|------|---|
| | | | 必修 | 選択 | | | | |
| 成人看護学実習Ⅰ | 2312050 | 広井 貴子 近藤 ふさえ 目黒 優子 | 2 | | 90 | 3 | 実習 | 【看護師実務経験を持つ教員が教授する科目】 急性期・周手術期にある成人を受け持ち、患者とその家族の健康上の問題を理解し、問題解決に向けた看護援助を主体的に考え、集中管理・治療・ケアなどの生命の危機状態にある患者や家族ケアを学ぶ。看護過程を展開していく過程で、患者とその家族の個性を捉え、変化に応じた看護援助のあり方を考え、看護を創造し発展できる能力を養う。さらに、退院にむけて保健医療福祉チームにおける多職種連携において看護の役割を学ぶとともに自己の看護観を発展させる。学外での臨地実習科目である。 |
| 成人看護学実習Ⅱ | 2312060 | 目黒 優子 近藤 ふさえ 広井 貴子 林 友子 | 3 | | 135 | 3 | 実習 | 【看護師の実務経験をもつ教員が教授する科目】 慢性期にある成人を受け持ち、患者の特徴と看護上の問題を理解し、慢性期における機能障害が生活に及ぼす影響、機能障害に応じた援助の方法、症状や検査・治療に応じた看護、多職種との連携による継続看護の方法を学ぶ。また、慢性期から死の転帰をとる成人期の患者とその家族の気持ちに寄り添い、患者や家族のQOL向上のための看護援助の実際を学ぶ。また、緩和ケアにおけるチーム医療を考えるとともに、在宅緩和ケアの意義や課題について考察する。学外での臨地実習科目である。 |
| 老年看護学実習Ⅰ | 2312110 | 青柳 直樹 角山 裕美子 多田 健一 本庄 幸代 | 2 | | 90 | 3 | 実習 | 【看護師の実務経験をもつ教員が教授する科目】 介護老人保健施設に入所している高齢者を受け持ち、看護過程を展開する。看護過程の展開にあたり援助的関係を築き、高齢者の発達課題、家族の状況、疾病や老化が日常生活に及ぼす影響をアセスメントし、健康の維持・増進を考え、高齢者のQOL向上をめざした看護を実践する。また、高齢者の生活を支える看護職や他職種との連携の実際を知り、看護師の役割を考察する。学外での臨地実習科目である。 |
| 老年看護学実習Ⅱ | 2312120 | 角山 裕美子 青柳 直樹 多田 健一 本庄 幸代 | 2 | | 90 | 3 | 実習 | 【看護師の実務経験をもつ教員が教授する科目】 地域で生活する高齢者の健康保持・増進・疾病予防・介護予防や日々の暮らしを様々な側面からサポートする仕組み、保健医療福祉・介護の連携・協働、地域住民の生活を守る包括的・継続的支援について学ぶ。地域密着型サービスのケアを通し、高齢者がくらし慣れた地域で生活していくためのケアのあり方を考察する。地域包括支援センターでは、高齢者のくらしを地域でサポートするための拠点として、「介護予防ケアマネジメント」「包括的・継続的ケアマネジメント」「総合相談」「権利擁護」の実際を通して、個人・地域特性に応じた健康環境づくりや健康保持増進に関連する地域の組織的な取り組みや社会資源開発を学び、高齢者の暮らしを地域で包括的・継続的に支援することの意義を考察する。学外での臨地実習科目である。 |
| 小児看護学実習 | 2312160 | 沼野 博子 伊藤 文子 船岡 未恵 永谷 智恵 | 2 | | 90 | 3 | 実習 | 【看護師の実務経験をもつ教員が教授する科目】 子どもの健康問題、生活上および発達上の問題に注目し、子どもの特性やアプローチの基本、看護専門職として必要な知識・技術・態度を学ぶ。また、子どもと家族の健康増進などの看護を体験する。一般小児病棟や障がい児施設において一人または複数の小児を受け持ち、その児の健康問題、生活上の問題や発達上の問題にフォーカスし、小児の特性やアプローチの基本、看護専門職として必要な知識・技術・態度を学ぶ。また、保育園での小児実習、小児の健診の場面も活用し、小児と家族の健康増進などの看護を体験する。学外での臨地実習科目である。 |

| 科目名 | 科目番号 | 担当 | 単位数 | | 時間数 | 学年配当 | 授業形態 | 内容 |
|-------------|---------|--|-----|----|-----|------|------|--|
| | | | 必修 | 選択 | | | | |
| 母性看護学実習 | 2312200 | 佐藤 初美 太田 操 森 美由紀 | 2 | | 90 | 3 | 実習 | <p>【看護師・助産師の実務経験を持つ教員が教授する科目】</p> <p>周産期にある母性看護の対象者（妊産褥婦・新生児、胎児を含む）とその家族に対して、既習の知識・技術・対応度を統合し、ウェルネス看護の視点で個別性のある看護過程を展開する。</p> <p>実習は病院やクリニックの産婦人科病棟、外来（助産師外来、母乳外来）などで学ぶ。また、女性と家族が次世代を産み育てるために、家庭や地域における継続的な母子支援も体験する。具体的には、産後ケア施設や子育て支援施設での実習、地域で活動する助産師の沐浴や新生児訪問への同行、母親学級を見学するなど、多様な場で学ぶ。学外での臨地実習科目である。</p> |
| 精神看護学実習 | 2312240 | 田邊 要補 板山 稔 藤田 勇 | 2 | | 90 | 3 | 実習 | <p>【看護師実務経験を持つ教員が教授する科目】</p> <p>精神看護学実習では、患者－看護師関係を築きながら、精神に障がいをもつ個人を生物的・心理的・社会的に捉え、強みを活かした健康回復への支援を実施する。関係構築の過程を通して対象者の体験を把握する能力と自己洞察の能力を養う。さらに、精神保健福祉における多職種チームの中での看護師の役割について理解し、看護者として対象者が地域で生活を営む上での必要な援助について理解する。病棟実習、社会復帰施設での実習を行う。学外での臨地実習科目である。</p> |
| 地域・在宅看護援助論Ⅱ | 2313190 | 山崎 節子 駒形 三和子 田辺 生子 | 1 | | 30 | 3 | 演習 | <p>【看護師・保健師実務経験を持つ教員が教授する科目】</p> <p>対象別の在宅看護の実際に基づき、在宅看護に必要な知識・技術について講義・演習を通して学ぶ。在宅看護で必要とされる基本的な生活援助技術について修得する。そして、在宅看護における紙上事例を展開し、在宅療養者とその家族に対する看護につなげる思考過程と必要な援助方法を学習する。保健師実務経験をもつ3名の講師による科目である。</p> |
| 地域診断論 | 2313100 | 駒形 三和子 平澤 則子 渡邊 路子 山崎 節子 田辺 生子 | | 1 | 15 | 3 | 講義 | <p>【看護師・保健師実務経験を持つ教員が教授する科目】</p> <p>ヘルスプロモーションの理念に基づき、健康で暮らしやすい地域づくりをめざした地域看護活動の目的と方法について学習する。地域を看護の対象として認識し、社会との関連で健康課題を理解し、地域で生活する人々の健康と生活のニーズを、多角的にアセスメントする具体的方法を学ぶ。また、人々のニーズをいかした地域看護活動計画について考える。保健師実務経験をもつ5名の講師による科目である。</p> |
| 災害看護活動論Ⅰ | 2313150 | 春川 一樹 | 1 | | 30 | 3 | 演習 | <p>【看護師実務経験を持つ教員が教授する科目】</p> <p>災害看護論を基盤に実際に県内で起きた雪害、水害、中越地震、中越沖地震の被災地、および県外の被災地に向き、被災地の復興の流れや、防災・減災対策などを実際に学ぶ。同時に、フィールドワークを通して、被災者の理解を深め、看護職および地域住民双方の視点から防災、被災に対する自己の考えを深める。事例によるロールプレイングを行い災害で親しい人を失った遺族への言葉かけ、コミュニケーションスキル（傾聴）を学ぶ。救急看護認定看護師の資格をもつ講師が、その経験を活かした授業を行う。</p> |

| 科目名 | 科目番号 | 担当 | 単位数 | | 時間数 | 学年配当 | 授業形態 | 内 容 |
|------------|---------|-----------------------------------|-----------|-----------|--------------|------|------|---|
| | | | 必修 | 選択 | | | | |
| 地域・在宅看護学実習 | 2313200 | 渡邊 路子 山崎 節子 駒形 三和子 田辺 生子 | 2 | | 90 | 3 | 実習 | 【看護師・保健師の実務経験を持つ教員が教授する科目】 訪問看護ステーションでは、対象者を受け持ち、在宅訪問に同行し、対象の環境を理解して訪問看護過程を展開する。訪問看護過程の展開にあたっては人と家族がどのように暮らしたいかを把握し、その人らしさや家族の思いを活かす。また、地域の中で生活するために現存の社会資源について調べ、対象者や在宅療養のために必要な課題が表現できる。病院から地域への看護の継続と多職種との連携について理解を深め、地域で生活するさまざまな健康レベルにある人びとへの看護活動を理解し、看護実践能力の基盤を修得する。学外での臨地実習科目である。 |
| 看護学研究法 | 2314070 | 板山 稔 近藤 ふさえ | 2 | | 30 | 3 | 講義 | 【看護師の実務経験を持つ教員が教授する科目】 看護学における研究（看護研究）に必要な基礎的な知識を習得する。看護研究の意義や目的を理解し、研究デザインに応じたデータ収集方法や分析手法、倫理的配慮等について学ぶ。これらの知識をもとに文献検索、文献レビュー、文献クリティークを行い、研究計画書の作成を体験する。看護師実務経験をもつ2名の講師による科目である。 |
| 家族看護論 | 2315010 | 斎藤 まさ子 | | 2 | 30 | 3 | 講義 | 【看護師の実務経験を持つ教員が教授する科目】 家族をシステムとしてとらえ看護する家族看護の理論を学ぶ。具体的には家族の発達周期、システムとしての家族の理解、アセスメントモデルなどである。また看護過程を学び、臨床から在宅まで、それぞれの場で暮らす家族を地域の中で看護する方法について事例を通して学ぶ。臨床看護師経験をもつ講師による科目である。 |
| 合 計 | | | 92 | 13 | 2,385 | | | |